

2004年(平成16年) No.113  
12月1日(毎月1日発行)

# サポーターズタイムズ

## Supporters Times



発行所  
秋葉けんやサポーターズ事務所  
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈字長左衛門下30-36  
Tel 022(375)4477  
Fax 022(375)0057  
E-mail:kenya@akiba21.net

購読料 年額6,000円  
振込先 秋葉けんや後援会  
口座番号 七十七銀行本店(普) 6385206  
仙台銀行黒松支店(普) 2336691  
郵便振替 02290-2-37770  
編集 関アクトジャパン

### 宮城県議会議員 秋葉 けんや 政策・活動リポート

#### 選挙公約の実現に向けて

## 中小企業支援対策の強化について



宮城県議会議員 秋葉 賢也  
(財)松下政経塾員

**秋葉議員質問** 高度経済成長期の一九六〇年以降、我が国の中小企業の開業率は、大体6%から7%ぐらいの低い水準で推移してきましたが、八〇年代に入るとこれが一気に開業率が3%台へと低下してきました。一九八九年には、企業の開業率と廃業率の比率が逆転

してしまいました。まさにバブルの崩壊と言われた時期と、この企業の開業率と廃業率が逆転したときが重なる結果になっています。そして、一貫して今日まで廃業率の上昇が続いているのが実態なわけです。私は、この事実を極めて重く受けとめて考える必要があると思います。つまり、企業の倒産などによる廃業率よりも、新たに企業が設立、創業される開業率の方が上回らなければ、いつまでたっても我が国の景気はよくなるまいと考えて良いと思います。そこで、新しい企業がどんどん挑戦できるように環境を整備することに一番力を入れて取り組む必要があると考えますが、いかがでしょうか。

法務省でも差し押さえ財産の緩和とかいろんな動きがあつて、私も期待していましたが、結局、法律改正には十分至りませんでした。例えば「起業家特区」というような構想を策定し、どうすれば創業しやすい環境、あるいは再チャレンジしやすい環境をつくれるのかということについて、私は、戦略的に検討する必要があると思います。

**産業経済部長答弁** 開業率の上昇が経済対策で一番重要な点ではないかという点につきまして、我々も全くそのとおりだということに認識をしております。そのための施策として、さまざまなお開業、創業の補助でありますとか、インキュベーションファンドの造成これに取り組んでおります。また、インキュベーション施設を県内に多数整備をいたしております。今回、ガレージファクトリーを立ち上げたということもございます。また、起業家を育成するということ、また、

現在あるのは平成十一年のデータで、平成十三年のころにやっておる調査もあるんですが、総務省の方から公表されてない状況でありまして、古いデータですが、平成八年から十一年までの三十三ヵ月というところで取りまとめました。その間の開業率4.4%、廃業率6.1%ということになります。また、企業倒産件数は、平成十三年、三二五件、十四年が三二五件、十五年が二四六件となっております。中小企業白書(二〇〇三年)を見ますと、本県は、開業率4.1%とこちらではデータが出ていない、全国で十位に位置しております。また、仙台市は10.3%になっておりまして、仙台市が存在するという特徴的な要因もあるということになります。総じて見ますと、現時点において、廃業率を開業率が上回るまでには至っていないというふうな考え方をしております。

**秋葉議員質問** 一方、失敗しております。再チャレンジできるという環境整備も大変重要なことですが、アメリカでは、一度企業経営に失敗しても、実に47%の経営者が再起を果たしています。ところが、日本は、たった13%ですよ。つまり、企業経営・創業に一回でも失敗したら、再起不能になっている人が八割を超えているわけです。

具体的には、会社設立時の手続の簡素化や、差し押さえ禁止財産の拡大とか、法人税等の軽減措置など有効な手法が考えられると思いますが、いかがでしょうか。

**産業経済部長答弁** 事業に失敗した人が次に成功する確率は残る二分の一ということ、確立は高くなる、失敗経験というのは、非常に貴重なものであるというふうな感想をもっております。

県では、平成十四年八月に最先端技術みやぎ特区として提案をいたしました。再建を目指す起業家の環境づくりを図るために、最低資本金の引き下げや、差し押さえ禁止財産の範囲拡大、規制緩和項目として提案をしたことになっています。これは結果的には、特区として採択されなかったんですが、その後、国では新事業創出促進法を見直し、最低資本金一円からいということ、法改正が図られました。それから破産法も改正されまして、破産者の自由財産の範囲の拡張が図られているという状況でございます。

ただ、一方、今お話をしましたように、民事執行法の方は改正がされております。こちらの方も課題であるというふうな感じがあります。

なお、この特区、提案したものを下敷きに、我々として、県でどういったことができるかというの、今後の検討課題とさせていただきます。いと存じます。

〈予算特別委員会での総括質疑から抜粋〉

**From Prefectural Assembly 県議会から**

**☆(1) 定例県議会は11月18日からスタートし、12月16日までの予定で現在、開会中です**

今回の補正予算額は約45億円!!今回の補正予算は、楽天イーグルスへの支援策として、県営球場の周辺整備費など2億1千万円、石巻地域の合併協議会に対する交付金として約9億円、青葉山県有地の明渡料として20億円など、一般会計で約45億円となっております。主な財源は、03年度の決算剰余金20億円余、各種基金の取り崩し約20億円などとなっております。

条例議案は10件で、その主なものは、県の100%出資の外郭団体などを情報公開の対象にする改正案や、宮城球場を第三者に管理させる場合の使用料を1年につき1億6千4百万円にすることなどを規定した県立都市公園条例の改正案などがあります。

**☆(2) 平成15年度決算の概要について**

11月26日から5日間の日程で、決算審査が行われました。歳入では自主財源の大宗を占める県税の大幅な増加が見込めず、また、歳出についても公債費比率が高率で推移するなど、極めて厳しい状況にあるといえます。なかでも、投資的経費の落ち込みが目立っており、決算額1500億7千余万円（構成比20.8%）は東北6県でも最低ランクとなっております。

さて、一般会計及び特別会計（11会計）の歳入決算額は1兆454億8867万565円、歳出決算額は1兆249億9204万2154円で、歳入歳出差引額（形式収支額）は204億9662万8411円の黒字となり、前年度の歳入歳出差引額225億673万7952円に比較し20億1010万9541円（8.9%）の減となっております。

この歳入歳出差引額から、繰越しに伴い翌年度へ繰り越すべき財源129億1060万3470円及び特別会計の実質収支額（事業繰越額）55億5528万5675円を控除した一般会計の実質収支額は20億3073万9266円となり、前年度の実質収支額24億1058万9315円に比較し3億7985万49円（15.8%）の減となっております。

県税の収入未済額は、89億2204余万円で、内訳は①個人県民税29億余万円（98,600人）、②自動車税20億余万円（約6万3千件）、③軽油引取税16億余万円（164件）、④不動産取得税11億余万円（約3600件）などです。また、税外の収入未済も依然として多く、特に県営住宅使用料約2億円、児童扶養手当給付費返還金7千余万円など合計で約14億余万円に及んでいます。

● 基金の状況

	平成14年度	平成15年度
財政調整基金	76億66百万	72億84百万
地域整備推進	5億43百万	5億44百万
国際化基盤整備	15億50百万	15億51百万
県債管理基金	598億26百万	590億50百万
小計	695億85百万	684億29百万
その他の基金	507億00百万	481億29百万
計	1202億85百万	1165億58百万

● 県債の状況

	平成14年度	平成15年度
年度末現在高	1兆4867億	1兆5059億42百万円
県民一人当たり	@63万3千	@64万1千円
増減率	1.4%	1.3%

● 時間外勤務手当

区分 年度	予算（決算）額 A				一人当たり支給額（月額） C = A*1000円 / B*12ヶ月				一人当たり最高支給額（月額） D			
	知事部局	教育庁	警察本部	計	知事部局	教育庁	警察本部	計(全体)	知事部局	教育庁	警察本部	計(平均)
平成14年度	千円 1,385,813	千円 379,520	千円 2,518,972	千円 4,284,305	千円 20,042	千円 16,244	千円 54,171	千円 30,821	千円 654	千円 468	千円 465	千円 529
平成15年度	1,469,028	384,167	2,471,695	4,324,890	21,705	16,683	53,196	31,529	642	301	231	391

**☆(3) 秋葉議員は12月3日（金）トップバッターで、一般質問に登壇します**

質問内容は、①中小企業の支援対策の強化について、②宮崎駿ワールドの県内誘致について、③スポーツ振興について（楽天イーグルスへの支援・対応、スケートリンクの確保など）、④教育改革の促進について（発達障害児童・生徒への支援対策など）です。

# 県政 Report

## 県立社会福祉施設の今後のあり方について

少子・高齢化の急速な進展や核家族化、家庭機能の変化などに伴い、福祉需要は増大・多様化していますが、地方分権の進展に伴い、住民に身近な行政を担う市町村の役割が重視されてきており、県の福祉行政は、広域的あるいは専門性の高い事業の実施や市町村等への助言・支援など、その役割を特化することが求められるようになりました。県では県立社会福祉施設の担うべき役割やこれからの方向性について検討を行うため、検討委員会などで検討してきましたが、その概要を報告いたします。

### 【宮城県における社会福祉施設の概況(抜粋)(H16.6.1)】

施設の種類	県立		市町村立		民間		総数	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
養護老人ホーム	1	80	2	206	7	510	10	796
特別養護老人ホーム	2	400	1	100	89	5,106	92	5,606
身体障害者療護施設	1	65	0	0	6	340	7	405
知的障害者更生施設	3	450	1	20	39	1,876	43	2,346

### (1) 基本的視点

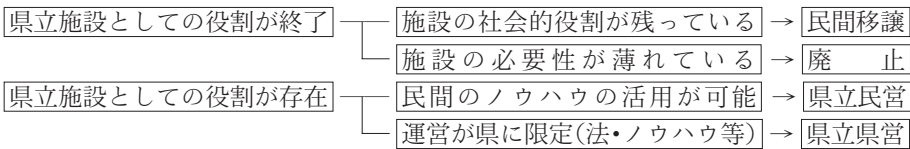
「みやぎの福祉・夢プラン」は、県立施設の施設運営について次のように方向性を定めています。

事業採算性の観点から民間では収支バランスがとれにくい分野や、新しい多様なニーズに応えるために、調査研究や普及啓発を図るなど、モデルとなるべき先駆的の分野などを基本的な役割と考え、地域的な偏在の解消、小規模化にも配慮しつつ、今後民営化への移行等を検討していく。

### (2) 県立社会福祉施設の役割

- 【法定義務】 法令上、県に設置が義務付けられているもの。
- 【採算性】 事業採算性の観点から民間では収支バランスがとれにくいもの。
- 【先導的・先駆的機能】 重度重複障害等の複合的ニーズを抱える方々への支援など、民間ではノウハウが確立していない先導的・先駆的なもの。
- 【広域的支援機能】 施設職員の研修、バックアップ機能、セーフティネット機能などの広域的支援機能のうち、民間では対応が困難なもの。

### (3) 県立社会福祉施設の基本的方向



※各施設ごとの具体的な方向性については、県HPで公開しています。

## 新聞にみる秋葉議員の活躍

議員にぐりと囲まれた  
楽夫野球団の島田享副社長は、「職員は睡眠三時間。素人集団だが、地域密着の

「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」  
「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」  
「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」

「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」  
「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」  
「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」

「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」  
「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」  
「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」

「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」  
「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」  
「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」

「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」  
「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」  
「東北出身選手を」「仙台以外にも顔出して」

※ 県議会のホームページでは、秋葉議員の提言や質問が会議録検索できます。秋葉議員のHPからもアクセスできます。

# 第94回 政策研究会

日時: 12月15日(水)  
午後3時~4時まで

テーマ: 「危機管理の現状と課題」

講師: 県危機管理課 鈴木 正幸 氏

場所: 宮城県議会棟1F 応接室

会費: なし(どなたでもお気軽にご参加下さい。)



## 仙台空港アクセス鉄道 シンボルマーク募集について

仙台空港アクセス鉄道をイメージする新鮮で夢のあるシンボルマークを募集しています。シンボルマークは社章、制服、時刻表などに使用するほか、車両前面にも掲示します。問合せ先など詳しくは仙台空港鉄道株式会社ホームページをご覧ください。

### CURRENT TOPICS

## 宮城県における不法投棄の現状について

### 〈今後とも取締の強化が必要〉

1 県内における産業廃棄物の不法投棄の現状は大変増加傾向にあります！

(1) 不法投棄件数及び投棄量(1件あたり10トン以上の事案について計上)

年度	全国		宮城県(仙台市含む)	
	投棄件数	投棄量(トン)	投棄件数	投棄量(トン)
平成10年度	1,197	424,000	20(15)	3,245(18)
平成11年度	1,049	433,000	16(19)	3,044(21)
平成12年度	1,027	403,000	8(33)	3,927(17)
平成13年度	1,150	242,000	16(17)	2,892(16)
平成14年度	934	318,000	9(26)	11,316(8)
平成15年度	-	-	16-	58,134-

※( )内の数字は全国の都道府県における宮城県の順位  
※平成15年度の全国値は集計中  
※平成15年度の16件58,134トンのうち、3件51,069トンは仙台市分

(2) 平成15年度実績の概要(宮城県分)

① 実行行為者別

実行行為者の類型	10トン以上の不法投棄のみ		不法投棄・不適正処分	
	投棄件数	投棄量(トン)	投棄件数	投棄量(トン)
排出事業者	9	4,457	16	4,718
許可業者	0	0	6	3,120
無許可業者	2	2,533	5	3,633
複 数	0	0	1	450
不 明	2	75	2	75
合 計	13	7,065	30	11,996

② 廃棄物種類別

(単位: トン)

廃棄物の種類	10トン以上の不法投棄のみ	不法投棄・不適正処分
汚 泥	2,500	2,500
が れ き 類	2,419	3,556
木 く ず	805	1,283
金 属 く ず	561	598
ガラスびん・プラスチック及び陶磁器くず	430	455
廃プラスチック類	249	3,493
織 維 く ず	100	110
燃 え 殻	1	1
合 計	7,065	11,996

2 県内における一般廃棄物の不法投棄の現状

県では、一般廃棄物の不法投棄について実態調査を行っていませんが、産業廃棄物適正処理監視指導員(産廃Gメン)のパトロールにより発見された一般廃棄物については、右表に示すとおりです。実際にはこの数倍の量になっていると思われます。

年 度	発見件数	発見数量
平成13年度	78件	105t
平成14年度	157件	202t
平成15年度	78件	115t

恒例となりつつある『サポーターズ掃除の会』は、毎月第二日曜日に実施しています。今月は12日午前8時~9時までです。ごみ袋、軍手、火バサミなどをご持参のうえ、上谷刈の秋葉賢也事務所集合。

### 秋葉 賢也(あきば けんや) プロフィール

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、42才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業。東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。(財)松下政経塾卒塾(宮城県初)。
- 宮城県議会議員(三期目)、総務企画委員会委員、地方分権・地方財政自立改革調査特別委員会委員長、宮城県都市計画審議会委員、宮城県私立学校審議会委員、宮城県トライアスロン協会副会長、宮城県セーリング連盟顧問など多方面で活躍中。
- 著書: 「地方議会における議員立法」(文芸社)、「東北の夢創造」(ぎょうせい)。
- 趣味: 野球・空手・ジョギングなどスポーツ、読書、映画。

